



肥田舜太郎
被爆医師
内部被ばくに
警鐘を鳴らして六十六年

鎌田實
諏訪中央病院名誉院長
チェルノブイリ連帯基金代表
日本イラク医療支援ネットワーク代表
白血病や
がんの子ども達のために
働き続ける医師

児玉龍彦
東京大学アクトープ総合センター長
福島現場で動き
発信する医師

スモルニコワ・
ブレレンチナ
小児科医
チェルノブイリで
臨床医四十五年

まもりたい! 未来のために

4人の医師が語る経験・広島—チェルノブイリ—イラク—福島



鎌仲ひとみ監督作品

内部被ばくを生き抜く

「内部被ばくを生き抜く」上映 & 鎌仲ひとみ監督トークライブ

福島県
矢吹町

宮城県
仙台市

2012年

12月9日 [日]

●前売り・当日券ともに **1000円** (全席自由 定員150名)
●会場: 矢吹町文化センター(小ホール) ※駐車場有ります
〒969-0236 福島県西白河郡矢吹町一本木100-11 (矢吹町役場隣り)

監督トーク&「内部被ばくを生き抜く」&「ヒバクシャ」二本同日上映

上映終了

会場には、迷子動物や被災家畜
の写真展示や市民放射能測定の
活動をパネル展
早めに開場して
ちらもぜひご覧ください。

ご来場ありがとうございました。

11:00~
12:30~13:50
14:00~15:20
15:30~16:30
鎌仲ひとみ監督トーク

お申込み WEBでのお申込み <http://kokucheese.com/event/index/52176/>

「こくちーず」で検索→トップページ→開催場所→福島→12月9日のイベント

お電話・FAXでのお申込み 0247-42-2160 (福島)

※ウラ面がFAX申込み用紙になっておりますので、FAXの方は必要事項を記入して送信してください。

宮城県
仙台市

2013年

1月27日 [日]

●前売り・当日券ともに **1500円** (全席自由 定員各240名)
●会場: エルパーク仙台ギャラリーホール
〒980-8555 仙台市青葉区一番町4-11-1 (地下鉄勾当台公園駅より1分)
※駐車場はございませんので周辺の有料パーキングをご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。

●上映スケジュール

	1回目	2回目
開場	9:30~	14:00~
「内部被ばくを生き抜く」上映	10:00~11:20	14:30~15:50
鎌仲ひとみ監督トーク	11:30~12:30	16:00~17:00

お申込み WEBでのお申込み <http://kokucheese.com/event/index/52177/>

「こくちーず」で検索→トップページ→開催場所→宮城→1月27日のイベント

FAXでのお申込み 022-377-4561 (宮城)

※ウラ面がFAX申込み用紙になっておりますので必要事項を記入してFAX送信してください。

お問い合わせ・お申込み 「内部被ばくを生き抜く」東北上映実行委員会 tohokujouekai@gmail.com

主催: 「内部被ばくを生き抜く」東北上映実行委員会

【共催】i-くさのねプロジェクト (www.kusapro.com/) / みんなで決まよう「原発」国民投票東北グループ (<http://kokumintohyo.com/>)
NPO法人TEAM二本松「市民放射能測定室」 (<http://team-nihonmatsu.r-cms.biz/>) / 安心安全アクションin郡山 (<http://aaa3a.jp/>)
【協力】ALIVE ふくしま (http://blogs.dion.ne.jp/alive_fukushima/) / 生活協同組合 あいこふみやぎ (<http://www.mamma.coop/>)

未知なる危機に備えて

監督 鎌仲ひとみ

2011年3月に起きた東北大地震によって原発が4つも爆発してしまった、その後の世界に私たちは生きている。大量の放射性物質が放出され、広範囲に拡散したことは解っているが、ではどれだけ出たのか実は正確な情報がない。放射性物質は環境に溶け込み、生態系に入り込んだ。呼吸や汚染された水・食品を通じて引き起こされる内部被ばくは、この時代に生きる私たち全員の問題となった。

これからいったい何が起きるのか、正確に予測できる人は実はいない。ただできることはありとあらゆる情報と可能性を吟味して、「命」を守る努力をすることだ。放射能は様々な局面で「命」の脅威となりえる。私たちは生き抜かねばならない、そのためのささやかな助けとなればとこの作品を作った。



鎌仲ひとみ 監督 プロフィール

早稲田大学卒業後ドキュメンタリー制作の現場へ。フリーの映像作家としてテレビ番組、映画を監督。2003年ドキュメンタリー映画『ヒバクシャ―世界の終わりに』以降、2006年『六ヶ所村ラプソディー』、2010年『ミツバチの羽音と地球の回転』の3部作で放射能汚染、被ばく、原発やエネルギーの問題を追いつけてきた。

グラデーションの世界

「内部被ばく」に関しては、低線量の放射線は安全である、から始まってどんなに微量でも身体の中に入った放射性物質は危険である、まで異説、異論がこの世界には存在する。それはまさしくグラデーションのような世界に見える。放射能汚染もまた、まだらなグラデーションを地上に描いている。私は放射能汚染を受けた現場で生きる世界中の人々の取材を通して、データにはならないが、現場には確実に被害を受け苦しんでいる人々がいることを身をもって経験した。そんな現場で実際に被ばくに関する医療活動を継続してきた4人の医師にこれからどう対処していけばいいのか、問いかけることにした。年齢も経歴も違う4人の医師がこれまで内部被ばくに関して積み重ねてきた体験や研究は重なる場所もあれば重ならないところもある。内部被ばくの影響は複雑で未知の部分も多い。それでも、この4人の医師の声に耳を傾けることで情報が混乱する中でも、自分にとっての立ち位置を見定めていただきたい。福島・二本松に生き続けることを決めた一家も登場する。現場の声を聞くことをまず一番に大事にしたかったからだ。暮らし、家族、地域、など生身の人間の未来を配慮することなしに被ばくは語れない。どうやってらこの「内部被ばくの時代」を私たちは生き抜くことができるか、最前線で格闘する人々の声に耳を傾けた。

「内部被爆を生き抜く」東北上映実行委員会よりみなさまへ

2012年夏に 福島・宮城在住の市民数人により「内部被ばくを生き抜く東北上映実行委員会」を立ち上げ、この度開催の運びとなりました。監督のトークと上映会をきっかけに「今わたしたちからできること」を皆で考えていきたいです。この会場では様々な取り組みをされている方々の紹介コーナーを設けます。エネルギー、震災、復興、食、環境、福祉など、テーマは自由です！

- ・チラシや署名などは是非お持ち込みください。
(事前に内容を確認させていただきたいです。お問い合わせください)
- ・ブース出展も可能です。(先着順8ブースまで)

【各種お問い合わせ先】 「内部被ばくを生き抜く」東北上映実行委員会
tohokujoueikai@gmail.com

皆様お誘い合せの上、是非ご参加ください。ご来場心よりお待ちしております。

「内部被ばくを生き抜く」上映会 FAX申込用紙

希望上映日に○をつけて、チケット枚数を記入してください

2012年12月26日		福島県矢吹町 会場：矢吹町文化センター(小ホール)
上映終了		
チケット枚数	ご来場ありがとうございました。	
枚	FAX 0247-42-2160 (福島)	

2013年1月27日 [日]		宮城県仙台市 ●会場：エルパーク仙台ギャラリーホール
上映時間をお選びください	1回目の上映 10:00~	2回目の上映 14:30~
チケット枚数	宮城県仙台市の上映をお申込みの方はこちらの番号へ	
枚	FAX 022-377-4561 (宮城)	

メールでのお申し込みは tohokujoueikai@gmail.com

おなまえ	
電話番号 および メールアドレス	受付完了の連絡をさせていただきますので、連絡の取りやすい電話・アドレスをご記入ください。 (3日以内に受付完了の連絡が来ない場合はおそれいりますがご一報くださいますようお願いいたします)

お手伝いしていただける方募集

実行委員参加者、周知協力、各種お手伝いをしていただける方を随時募集しています。

お問い合わせ・お申込み tohokujoueikai@gmail.com 担当:砂子 080-2773-0181

FAXを送信する際は、切り取らずにそのままお送りください。

FAX送信方向